

# いきいき君津っ子

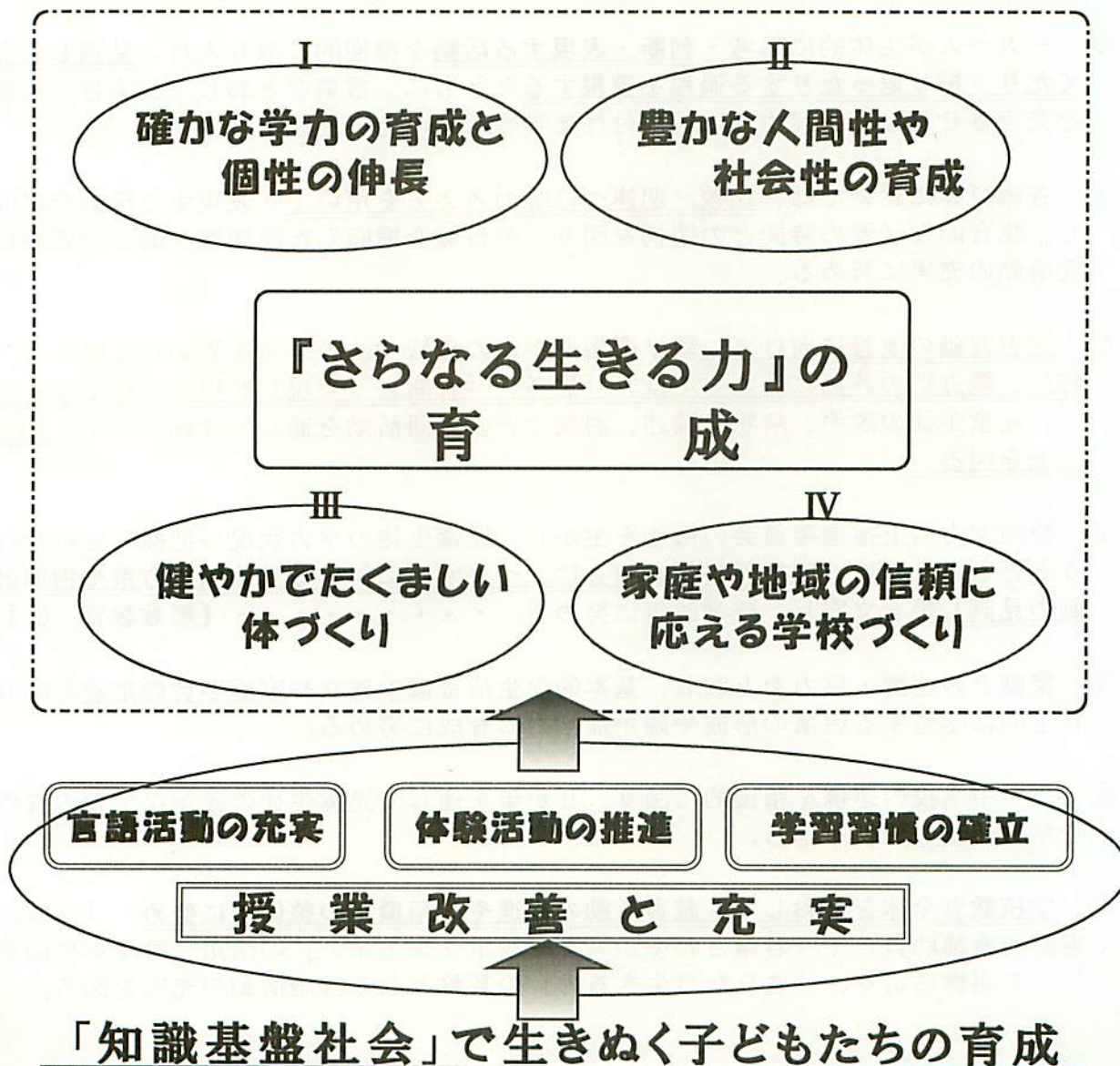
## めざす子ども像

- 1 思いやりの心を持ち、かけがえのない自他の命を大切にする君津っ子
- 2 自らの人生をたくましく切り拓き、社会で個性を発揮する君津っ子
- 3 健やかな体を培い、豊かな文化を継承し創造する君津っ子
- 4 郷土に誇りと愛着を持ち、世界に視野を広げ活動する君津っ子

## 4つの重点目標

### 新学習指導要領の趣旨を意図した計画・実践

【他者と共に生きる・他者のために生きる児童生徒の育成】



## 【学習指導要領7つの改善事項】

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1, <u>言語</u> 活動の充実       | 2, <u>理数</u> 教科の充実    |
| 3, <u>伝統</u> 文化に関する教育の充実 | 4, <u>道徳</u> 教育の充実    |
| 5, <u>体験</u> 活動の充実       | 6, <u>小学校英語</u> 活動の充実 |
| 7, <u>教科を横断</u> する教育の充実  |                       |

### I 確かな学力の育成と個性の伸長

#### (1) 基礎・基本の確実な定着と活用力の育成 【習得を活かした授業の実践】

- ① 児童生徒一人一人の学習状況を的確にとらえ、少人数指導や習熟度別指導等の個に応じたきめ細かな指導により、基礎・基本の確実な定着を図る。
- ② 知識・技能の定着のため、体験的理解や繰り返し学習を重視するなど、発達段階に応じて習得させる。この基盤の上に、思考力や判断力・表現力等を育むために観察・実験、レポートの作成、論述などの学習活動や活動時間を意図的・体系的に位置づける。……………【言語活動 ②③④⑧】
- ③ 一人一人が主体的に思考・判断・表現する活動を積極的に取り入れ、見通しを立てたり・振り返ったりする過程を重視するとともに、言葉をとおして伝え合う活動を充実させるなど、実生活に結び付けた学習活動の充実を図る。
- ④ 各教科等においては、比較・関連づけ等の考え方を用いて、表現する活動を展開し、総合的な学習の時間との連携を図り、教科等を横断した課題解決的な学習や探究活動の充実に努める。
- ⑤ 学習評価の改善に向けて、新学習指導要領の趣旨や改善事項を適切に反映する。特に、観点別の評価にあたっては、「思考」「判断」「表現」を切り分けることなく、児童生徒の説明、解釈、論述、討論などの言語活動を通じて評価するよう創意工夫を図る。
- ⑥ 校内学力向上推進委員会の機能を生かし、児童生徒の学力状況の把握・分析を行うとともに、特に、理数教科等を中心に、つまずきに対する具体的な方策や指導計画の見直し等を立案し、授業改善に努める。……………【理数教育 ⑤】
- ⑦ 家庭との連携・協力をとおし、基本的な生活習慣の確立や家庭学習の定着を図り、自主的に学習する習慣の形成や確かな学力の育成に努める。
- ⑧ 小・中学校の連携を積極的に図り、9か年を通して児童生徒の確かな学力の育成や学習習慣の確立を図る。
- ⑨ 学校教育全体をとおして、読書活動の推進や言語環境の整備等に努め、「学校図書館司書補助員」や「君津さわやかスクールボランティア」の活用、君津中央図書館との連携により、「さらなる生きる力」の基盤となる言語活動の充実を図る。

(2) 新たな時代に対応できる教育の推進 【自己の確立、共に生きる、コミュニケーション能力、確かな学力】

- ① 我が国や諸外国の文化・伝統等について理解・認識を深め、世界で活躍できる国際性豊かな人間の育成に努める。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【**伝統文化 ①②**】
- ② 古典や和楽器など、我が国固有の文化や伝統音楽などを積極的に学習に取り入れ、児童生徒の感性や情緒を育むとともに、文化を享受し継承・発展させる態度を育てる。
- ③ 君津市英語教育推進事業構想に基づき、外国語指導助手や国際化推進コーディネーターの活用等をとおし、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力を育成するとともに、教職員の指導力の向上を図る。・・・・・・・・・・ 【**小学校英語③④**】
- ④ 小学校高学年の英語活動の実践や、海外派遣生徒による体験活動の報告等をとおして、児童生徒の外国に対する興味関心を高めるとともに、国際理解や国際感覚の基礎を培う。
- ⑤ 教育用コンピュータの積極的な活用を図り、児童生徒のコンピュータリテラシーや情報モラルの育成に努めるとともに、教職員用コンピュータの活用による効果的な指導の工夫や、教育情報の共有化、情報危機管理意識の更なる向上を図る。
- ⑥ 「エコ・スクールきみつ」の取り組みを**充実し**、児童生徒の実践的態度を育てる中で、持続発展教育として、家庭・地域との**連携を図り**、環境に対する意識の高揚を図る。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【**教科を横断する教育⑤⑥⑦**】
- ⑦ 幼児・高齢者・障害のある人々などとのふれあいや、様々な福祉体験活動の機会を積極的に設け、福祉の心を育むとともに実践への意欲と態度を育てる。  
・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【**体験活動 ⑦**】

(3) 教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実 【支援体制づくりと整備】

- ① 校内委員会を設置し、特別支援教育コーディネーターを中心に学校全体の支援体制を整備する。さらに、保護者の思いや幼児児童生徒の教育的ニーズを把握し、家庭や医療機関、福祉施設等の関係機関と連携し、様々な側面からの取り組みを示した個別の指導計画や個別の教育支援計画の活用をとおして、一人一人が能力や特性を発揮し、主体的に活動できるよう学校全体で支援に努める。
- ② 生活体験指導員や心のふれあい相談員、指導補助教員の活用方法を工夫し、支援が必要な児童生徒に「学び合う喜び、関わり合う喜び、できた喜び」を味わわせ、学習活動への意欲化を図る。
- ③ 通常の学級と特別支援学級、小・中学校と特別支援学校との交流及び共同学習などの機会を積極的に設け、児童生徒及び教職員の相互理解を深める。
- ④ 特別支援チームや特別支援学校との連携を図り、特別な支援を必要とする児童生徒の早期発見・早期対応に努めるなど、個に応じた支援を図る。

- ⑤ 日本語指導教室指導員等の活用を図り、日本語指導が必要な外国人児童生徒の生活言語及び学習言語の向上に努め、自信や誇りを持って自己実現が図れるよう努める。

#### (4) 学びの基礎を培う幼稚園教育の充実

- ① 一人一人の良さや可能性の発見に努め、幼児が自分自身の存在感を感じられるような支援に努める。
- ② 遊びを中心としたさまざまな体験をとおして、主体的に遊ぶことのできる力を育てるために、教育内容や指導方法の工夫改善に努める。
- ③ 道徳教育や体験活動を充実させることをとおし、幼稚園と家庭・地域が一体となって幼児の豊かな心をはぐくむ。
- ④ 教育活動及び幼稚園運営の状況について自ら評価を行い、保護者や地域等に対して積極的な情報提供に努める。
- ⑤ 幼稚園経営の推進をはじめ、教育活動の充実を図るとともに、幼・小学校の連携及び保護者や地域との密接な関係づくりに努める。

## II 豊かな人間性や社会性の育成

### (1) 豊かな心を育てる道徳教育の充実【全体計画の検証と実践】

- ① 道徳の時間を要として、学校の教育活動全体を通じて道徳的心情、判断力、実践意欲や態度を養い、命を大切にする心や人間尊重の精神、自己を律する心を育てる。  
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【道徳教育①②③④】
- ② 児童生徒、学校及び地域の実態を考慮し、本市における道徳教育の重点「規範意識の醸成」と「自他の生命の尊重」を発達段階に応じて設定するなど、全体計画や年間指導計画の工夫を行う。
- ③ 家庭や地域との連携を図り、奉仕活動や体験活動などの豊かな体験をとおして、人間尊重の精神や生命に対する畏敬の念等、児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成に努める。
- ④ 教師と児童生徒及び児童生徒相互の人間関係を深めるとともに、悩みや心の揺れ、葛藤等の課題を積極的に取り上げ、人間としての生き方についての考えられるよう指導する。

### (2) 実践的態度を育成する特別活動の充実 【体験学習の充実】

- ① 児童会や生徒会などの活動を積極的に推進し、異年齢交流をより深め、児童生徒

の自主的・実践的な態度の育成に努める。・・・・・・【体験活動①②③④⑤】

- ② 家庭や地域との連携のもと、生きる力の基盤となる感動体験を実感できる学校行事の充実を図り、心豊かな人間性を育成する。
- ③ **自然体験・社会体験・職場体験等とおし、社会生活上のルールや基本的なモラルの修得を図る。**
- ④ 小学校からの発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を推進することにより、自らの生き方について考え、夢や希望を持って自己実現を図ろうとする能力や態度を育てる。
- ⑤ **宿泊体験学習や学校間交流活動をとおして、自治活動等を学びつつ、**新しい仲間づくりや体験活動に進んで取り組む態度を養うことで、集団の一員としての自覚や責任を持ち、互いに協力しようとする力を養う。

### (3) 自己指導能力を育てる生徒指導の充実 【自尊感情の構築】

- ① **学校が児童生徒にとって「心の居場所」としての役割を果たすことができるよう、**自尊感情を高める学級経営・学年経営の充実を努める。
- ② 長期欠席予防・解消に向けての指導・支援体制を確立するとともに、学校独自の達成目標をかかげて「不登校ゼロをめざすチャレンジ作戦」に取り組む。
- ③ **教職員間や幼児児童生徒間及び保護者との交流等とおし、積極的な連携を図り、「小1プロブレム」や「中1ギャップ」の解消に努める。**
- ④ **定期的な児童生徒の意識調査を実施するとともに、**校内における教育相談活動の充実を図り、いじめや不登校等、児童生徒の問題行動の早期発見・早期対応に努める。
- ⑤ 命の大切さや規範意識の醸成、基本的な生活習慣などの指導を徹底するとともに、体験学習やボランティア活動等を生かして社会性を育む中で、心の教育の充実を図る。・・・・・・【**道徳・体験・言語**】
- ⑥ 問題行動等の対応については学校内だけで問題を抱え込まず、PTAや青少年健全育成協議会、児童相談所などの関係機関・団体との行動連携を図る。

## Ⅲ 健やかでたくましい体づくり

### (1) 学校体育の充実 【育てる体育・鍛える体育】

- ① 学校教育活動全体を通じて体育に関する指導の一層の充実を図り、運動の実践を通して積極的に運動に親しむ資質や能力を育成する。

- ② 体力向上プロジェクトへの取り組みをとおして、児童生徒の体力向上への意識を高めるとともに、校内の協力体制を整備し、体力向上推進組織の充実を図る。
- ③ ライオンズ運動能力章や千葉県運動能力証の合格に向け、積極的に挑戦する意欲や態度を育てる。
- ④ 「君津市運動マスター」「爽走プラン（指導資料）」「小・中学校駅伝大会」等の取り組みや活用をとおして、基礎的な体力の向上をめざすとともに、小・中学校の連携種目として持久走を位置づけ、継続した取り組みに努める。
- ⑤ 生徒のスポーツに関する多様なニーズに応えるため、複数校合同による運動部活動や体育系部活動指導補助者活用事業を通して、運動部活動の活性化を目指す。

## （２）健康・安全教育の充実 【家庭・地域との行動連携の具現化】

- ① 「早起き、早寝、家族そろって朝ごはん」を奨励し、家庭における生活リズムや基本的な生活習慣の定着を進んで図ろうとする幼児児童生徒を育成する。
- ② 学校保健計画に基づき、インフルエンザやノロウイルス等による感染症についての指導の充実を図り、予防に関する正しい知識と実践的態度を養う。
- ③ 座位姿勢、起立姿勢を中心とした姿勢指導に取り組むとともに、ねこぜ等の予防・矯正するための体操指導を積極的に取り入れる。
- ④ 学校安全計画のものと、危険等発生時対処要領に基づき、地震や不審者侵入等を想定した訓練やちばっ子地域安全マップの作成、ボランティアやCAP研修等を活用しての防犯教室の実施等をとおして、日常より幼児児童生徒に危険予測や回避能力を身に付けさせる。

## （３）食育の推進

- ① 食の大切さや食文化、栄養バランス等を学ぶ「食育に関する全体計画」を作成し、学校教育活動全体をとおして、望ましい食習慣の形成や食を通じた自らの健康管理能力の育成を図る。
- ② 朝食欠食やアレルギー・肥満傾向等の実態を把握し、家庭や地域人材・関係機関との連携を図り、個に応じた指導をとおして幼児児童生徒の栄養改善及び健康増進を図る。
- ③ 学校給食を食育指導の生きた教材として活用するとともに、養護教諭や栄養職員の授業への積極的参加を図る。
- ④ 学校給食に関する衛生指導、衛生管理を徹底し、食中毒の防止と給食の安全確保に努める。

## IV 家庭や地域の信頼に応える学校づくり

### (1) 地域に開かれた活力ある学校づくり 【説明責任と役割分担】

- ① 組織マネジメントの発想を生かし、教職員一人一人が学校（園）の教育方針や目標を十分に理解し、それぞれの専門性を最大限に発揮するとともに、学校運営に積極的に参画するよう努める。
- ② 学校だよりや学校公開・ミニ集会等をとおして教育活動に関する情報等を保護者や地域に発信するとともに、「君津さわやかスクールボランティア」等の活用を図ることにより、開かれた学校づくりを積極的に推進する。
- ③ 学校や家庭・地域の特色を生かした教育活動を取り入れるとともに、地域の施設や社会人など地域の教育力を活用するなど、地域に根ざした取り組みを推進する。
- ④ 保護者や地域の人々の学校教育活動への参画を取り進む中で、関係づくりを推進し、その過程において、教職員自ら地域活動へ参加し、積極的にコミュニケーションを図る等「家庭・地域・学校の協働」による教育の推進を図る。
- ⑤ 自己評価・学校関係者評価を実施し、学校評議員制度や青少年健全育成協議会等との横の連携を積極的に図る中で、情報を公開し、学校運営の改善を組織的・継続的に行うことで、保護者・地域に対して、説明責任を果たす。
- ⑥ ISO14001の趣旨を生かして学校予算の効果的な活用を図るとともに、学校納入金等の適正な事務の執行に努める。

### (2) 安全で安心して学べる環境づくり

- ① 君津市「学校安全の指針」をもとに学校安全計画をもとに「危険等発生時対処要領」等を整備するとともに、関係機関との連携や保護者や地域への周知等、日常的に見直しを図る中で、教職員の危機管理意識の高揚に努める。
- ② 学校（園）の施設・設備・環境等を定期的に点検するとともに、点検者を交代するなど、複数の視点による安全管理に努める。
- ③ 幼・小・中学校や家庭・地域関係機関及び警察署との連携を図った地域安全ネットワークづくりを行い、学区の安全マップを作成するなど、幼児児童生徒の安全を守るための具体的な取り組みを学校や地域の防犯活動として推進する。
- ④ 全教職員が事故防止に対する安全注意義務を十分に認識するとともに、AED使用等の応急処置の技能向上に努める。

### (3) 教職員としての誇りと自信を持って、いきいきと教育実践ができる 資質・能力の向上

- ① 使命感や倫理観、専門性を高め、児童生徒理解に努めるとともに、保護者や地域

- の人々とのよりよい人間関係の構築に努める。
- ② 児童生徒や学校・地域の実態を踏まえて指導内容の精選を図り、基礎的・基本的内容を重視した「魅力あるわかる授業」の実践に努める。
  - ③ 保護者や地域に対し、積極的に「授業」を公開し、外部へ情報の発信を行う。併せて、小・中(高)・隣接学校との連携をとおり、教師の指導力・実践力の向上を図る。
  - ④ 業績評価及び目標申告制度を活用し、教職員一人一人が教育の専門家としての自覚をもって実践を積み重ね、学校力の向上を図る。
  - ⑤ 一人一人が課題意識を持って市研・君研や学校内外における研修会に積極的に参加することにより、教職員としての視野を広げ専門性を高める。
  - ⑥ 教育公務員としての服務規律の厳正と職務の公正な執行に努め、保護者や地域住民の信頼に応えるよう学校全体をあげて組織的に取り組む。